

事務事業名		国民健康保険診療所研究研修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	国保係	担当課長名	落合 眞	
	施策	2 地域医療体制の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 医療機会の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	17500~17504	国保(直診)	1	2	1	国民健康保険診療所研究研修費					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和34年~		根拠法令等	佐野市国民健康保険診療所条例 佐野市国民健康保険診療所条例施行規則					
					事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		その他内部事務事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
診療所医師の研修、医学専門書の購入			医学専門書や参考図書の購入、自治医科大学卒業医師(飛駒診療所、氷室診療所)の学会及び研修への参加							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			学会、研修会への参加回数	回	53	52	50			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
診療所医師			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			診療所医師の人数	人	5	5	5			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
医師の医療知識や技術を高めることにより、必要ときに、安心して医療を受けることができるようになります。			市内の医療体制に満足している市民の割合	%	58.9	59.0	61.0			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
身近に安心して医療が受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市内の医師・歯科医師数	人	268	262	253			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	362	403	410					
	事業費計(A)	千円	362	403	410	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費	115	旅費	145	旅費	105		
			需用費	41	需用費	48	需用費	75		
備品購入費			0	備品購入費	0	備品購入費	20			
負担金			206	負担金	210	負担金	210			
人件費	人	5	5	5						
のべ業務時間	時間	80	80	80						
人件費計(B)	千円	311	315	315	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	673	718	725	0	0				

事務事業名	国民健康保険診療所研究研修事業	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	診療所開設時期より医学専門書の購入は行っていたと推察できる。診療所の開設時期は、戦前まで遡れるものもあるが、国民健康保険の診療所として明確に位置づけされた開設時期は、昭和34年である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	診療所は山間地域にあることから、区域内人口(診療所からおおむね半径4km以内の人口)は事務事業の開始時期と比較し著しく減少し、高齢化が進んだことにより、患者数は減少し、高齢の患者が大半となった。事務事業の開始時期に比べ、医療に関する知識、技術、機器、薬等は著しく進歩している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	医師の知識や技術を高めることで良質な医療が提供できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市国民健康保険の直営診療所であるため、診療所の医師の研修や診療所の医師が使用する医学専門書の購入は佐野市が行わなければならない。診療所については民間への譲渡や指定管理も考えられるが、立地状況から経営が厳しく、市が運営しなければならない状況にある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事務事業の内容は、医師の学会や研修への参加、医学専門書の購入であり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	診療所は外来のみであり、また、市民病院と医療連携しているため、現状の事務事業の内容で十分である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費の大半を占める学会や研修への参加費用については、自治医科大学を卒業し、へき地勤務を行っている医師が、へき地勤務の義務年限内において受講する必要のあるものである。このため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	医師が研修を受けたり、必要な医学専門書を購入することは、患者に対する良質な医療の提供を目的とするものである。このため、この事務事業の最終的な受益者は患者であるが、患者は診察を受けた場合、一般的に医療保険で定められた一部負担金を支払うことになっており、適正な受益者負担をしている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
診療所に医師が配置できなくなったとき				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			